

保護者の皆様

可部 つちくれの家  
平成 29 年 5 月 2 日  
施設長 米田香代子

## 施設だより 5 月

動物園や平和公園のつつじが見事に咲き誇っています。例年に比べて高い気温が、いつもより早い

「花盛り」を導いたのでしょ。

この1週間の内、何日かは日中の気温が夏日！「まだ4月なのに暑い〜」「夏みたいじゃ〜」という声  
があちこつで聞かれましたが、本当に暑く、温暖化が確実に進んでいるのを感じさせられました。

つちくれでは、2名の新しい仲間を迎えて一ヶ月が経ちました。

今では、近澤さんは「ラッパ」と名づけられたプラスチックと金具のネジ詰め、山名さんは「封印版」

のテープ止めや二人組みでおこなう「布オムツ」の点検・数えを自分の役割・仕事として取り組んでい  
ます。また、仲間たちや職員そして日々の日課にも少しずつ慣れてきた様子が伺えます。

二人にはあせらず、無理をせず、これから先も楽しく元気に通ってほしいと心から思っています。

さて、今年度の利用者(41名)の目標の一つに『自治会活動を通して仲間同士の絆を深め、日々の

就労や生活そして行事や祭りを自治会で主体的に取り組む』があります。

現在この目標に基づき各クラスで、自分たちの旅行・社会見学・クラス行事(お楽しみ会)などについて

①どこに(で)②何をしに(何を)③どんな目的や願いを持って行く(する)と仲間同士で話し合っています。

今回の話し合いを通して、一人ひとりが主体的に考え、自分の思い(想い)と相手の思い(想い)をうまく

調整し合い、「クラスの意見」として一つにまとめあげる経験をしてほしいと願っています。

うまく調整し合うと一口に言っても、自分の行きたい所やしたいことは、その自分の願いが強ければ

強いほど、相手の願いを受け止めたり、受け入れることは、なかなか難しいものだと思います。

しかし、つちくれの仲間は昨年、就労の仲間を中心に一人ひとりが考えを持ち寄り、みんなで「祭り」

を企画運営し、みごとに成功させました。また、今年の入所式も仲間たちがみんなで考えて企画し、

とても素敵な式にしました。これらの体験で培った『自己主張し相手と言いつつ、お互い自分と

葛藤しながら各自少し我慢し、相手の意見を受け入れながらまとめていく力』を今回も発揮し、各クラ

スごとにワクワクする素敵な計画を立ててほしいです。